

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|------------|----|--|
| 267 | B-07004165 | 男性 | 41歳 | 150 mg | アセトアミノフェン リン酸コデイン(1%以下) | 意識消失 | 回復 | インフルエンザA型治療のため、リン酸セルタミビル、アセトアミノフェンを服用。夕方、電車の中にて意識消失発現。目撃者の話「白眼をむいて意識なし。数分で完全回復」。救急車にて搬送。到着時回復。CT正常化。翌日、意識消失回復。 |
| 268 | B-04024731 | 男性 | 42歳 | 150mg | 非ピリン系感冒剤(4) セフジニル 塩酸プロムヘキシ ン 塩化デカリニウム 葛根湯 | 痙攣 意識消失 | 回復 | B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。てんかん発作の既往あり、また、インフルエンザ罹患なしの状態、原因不明の意識消失の経験あり。最終投与(4日目)の翌日にけいれん発作及び意識消失の発現。搬送先での診断は、(側頭葉)てんかん疑い。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置により、有害事象発現4日後回復。 |
| 269 | B-05023594 | 男性 | 42歳 | 150mg | 塩酸パロキセチン水和物 | 感覚鈍麻 振戦 | 軽快 | インフルエンザため、本剤投与開始。5日後、腕のしびれ感、ふるえ発現。脳梗塞の疑いから検査を行うが所見なし。投与中止。3日後、軽快 |
| 270 | B-05023888 | 男性 | 42歳 | 75mg | 維持液(ブドウ糖加)(2) 生理食塩水 開始液(1) 塩化ナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン 濃グリセリン・果糖 | 落ち着きのなさ | 回復 | 不眠、嘔吐、こむらがえり、全身倦怠感で入院。著しい低Na血症(110mEq/l)で点滴にて補正試みる。約1ヶ月後、発熱(39℃)、全身倦怠感でインフルエンザA型確定診断後、本剤投与開始。当日は著変なし。翌日、心電図モニターを自己ではせず、採血をさせないといった行動あり。その1時間後から不穏発現。(無表情、発話なし、食事を食べない)その翌日、不穏回復(発話等に問題ない状態となる)入院から約3週間後、退院 |
| 271 | B-05024836 | 女性 | 42歳 | 75mg | 維持液(5) チアミンジスルフィド・B6・B12 配合剤 ゾピクロン エチゾラム | 易興奮性 | 回復 | A型インフルエンザで発熱(38℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約30分後に興奮状態になる。その後、興奮状態が軽快した。 |
| 272 | B-05025592 | 女性 | 42歳 | 150mg | | うつ病 | 回復 | 流感としてリン酸オセルタミビル処方(確定診断は行っていない)。前日の10時38.1℃。服用開始2日後に解熱。3日目より抑うつ状態発現、投与開始後6日目に本剤投与中止。投与中止1日後インフルエンザ軽快、うつ状態持続。中止4日後うつ状態消失。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|-------|--|------------|----|---|
| 273 | B-07001892 | 女性 | 42歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 味覚異常 | 不明 | インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、夕方、味覚障害発現。服用開始4日目、嗅覚障害発現。水様下痢もあり。 |
| 274 | B-04027500 | 女性 | 44歳 | 75mg | なし | 意識消失 | 回復 | B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。1回目の服用30分後、意識消失発現、転倒し、前頭部を床にぶつける。5分後、意識回復。本剤服用中止。その後は有害事象発現せず。 |
| 275 | B-05022245 | 男性 | 44歳 | 150mg | 非ピリン系感冒剤 イブプロフェン | うつ病 | 回復 | 咳、発熱のため受診し、PL顆粒投与。確認診断後、本剤投与開始。服用終了1日後、自信のない感じ、不安感、不眠などのうつ状態発現。仕事内容、信号等が理解できなくなる。意欲減退。他院受診、入院となり抗うつ剤、睡眠導入剤を処方。2日間、うつ病よりも意識レベル低下か幻覚の状況であり、診断途中、異常な発言あり。その後うつ状態は回復し、退院となる。 |
| 276 | B-05002258 | 男性 | 45歳 | 150mg | | 意識消失(意識消失) | 回復 | インフルエンザ治療目的にリン酸オセルタミビル投与。投与開始日、意識消失発現(30秒程度)。同日回復。4日後、本剤投与終了。 |
| 277 | B-05024830 | 女性 | 45歳 | 150mg | 塩酸アンブロキシソール 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸エビナステン | 意識消失 | 回復 | A型インフルエンザで発熱(37.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始初日の夜に一過性の意識消失が見られた。意識消失は当日中に回復し、その後もリン酸オセルタミビルの服用を継続し、投与開始から4日目にリン酸オセルタミビルの服用を中止した。その後も特記すべき所見は認められなかった。 |
| 278 | B-07000245 | 男性 | 45歳 | 150mg | | 自殺既遂 | 死亡 | 一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。 |
| 279 | B-06026807 | 女性 | 47歳 | 75 mg | クラリスロマイシン d-メレイン酸クロルフェニラミン 鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン | 痙攣 | 回復 | 38.7℃の発熱あり。インフルエンザ陰性であったが、症状よりインフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル処方。直ちに服用し、帰宅。夕方、洗濯物を取り込んでいた時に、意識消失して庭で倒れた。顔面に数ヶ所、擦過傷を自傷し、鼻出血も認めた。家人が発見したとき、意識消失に加えて、軽度のけいれんを顔面から両手指に認めた。その後、約5分間くらい安静にしたところ、覚醒した。意識消失、けいれん回復。本剤服用中止。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|----------|-------|--|-------------------|----------------|--|
| 280 | B-07004341 | 女性 | 47歳 | 75 mg | クエン酸フェンタニル 塩酸ロピバカイン水和物 ペンタゾシン 塩酸ヒドロキシジン スルバクタムナトリウム・セ フォペラゾンナトリウム | 異常行動 てんかん | 回復 回復 | 手術を予定していたが、同居の子供がインフルエンザに感染。手術日を延期できなかったため、リン酸オセルタミビルを予防的に服用。 服用2日目、全身麻酔と硬膜外麻酔を行い、術後、覚醒ののち病室にて「てんかん様不随意運動(胸を掻き毟る)」、「意識は呼びかけに応じるが目を開けない」等の症状が発現。 服用3日目、回復。 |
| 281 | B-05024259 | 男性 | 48歳 | 75mg | 塩酸セフカペンピボキシル 維持液(3) アセトアミノフェン レバミピド | 異常行動 痙攣 失神 | 回復 回復 回復 | A型インフルエンザで発熱(39.3℃)が見られ、リン酸オセルタミビル75mgを夕方 に服用。当日の午後7時頃、失神を起こし、検査にて重度の不整脈が確認され た。その後、症状は回復している。 |
| 282 | B-07003778 | 女性 | 48歳 | 75 mg | | 異常行動 | 回復 | A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。 投与開始2日目、朝、自宅トイレにすわりこみ、床に頭を何度打ちつけている が、自分で止めることが出来ない。それが2回続いた。その後、意識(記憶)なし。 家族の呼びかけで意識を取り戻す。 |
| 283 | B-05000394 | 女性 | 49歳 | 150mg | | 意識変容状態 落ち着きのなさ | 回復 | 39℃の発熱があり受診、インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投 与。4日間自宅で療養。4日目の夜、意識障害、不穏状態発現。投与を中止し翌 日インフルエンザ確定診断実施するがウイルス検出されず。意識レベルが低 かったため入院、ステロイドパルス療法により症状軽快、症状発現3日後にほぼ もとの状態に回復し、7日後に回復退院。 |
| 284 | B-07000129 | 女性 | 49歳 | 75 mg | 酒石酸ゾルピデム ロキソプロフェンナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) フルバスタチンナトリウム ピコスルファートナトリウム テプレノン | 異常行動 異常行動 | 不明 不明 | 患者がインフルエンザの検査を拒否したが、リン酸オセルタミビル処方。翌日、 通勤する際、車で自損事故を3回繰り返した。来院し、インフルエンザの検査を 実施したところ陰性。 |
| 285 | B-05025356 | 女性 | 50歳 代 | 不明 | | 痙攣 | 未回復 | リン酸オセルタミビル5日間処方され服用開始。眼の周りが痛い、痙攣発現。本 剤2日分服用にて中止。痛みが出てから1週間以上経過するも改善せず。副作 用の発現時期等詳細不明。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|-------------------|----------|--|
| 286 | B-07001423 | 女性 | 50歳 | 150 mg | | 頭痛 | 回復 | インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビル処方。体温:38.5°C。本剤4日間服用し、解熱し体調良好となる。 インフルエンザの転帰:軽快・回復。 本剤服用終了5日後、突然に左側頭～左後頭部にシビれる様な頭痛発現。以前にあった片頭痛とは異なる頭痛であった。鎮痛剤服用するも頭痛強く、入院。頭部CT所見なし。その後、処置にて軽快。 |
| 287 | B-05005032 | 女性 | 51歳 | 不明 | | 精神症状(精神症状) | 回復 | 頭痛・発熱有り受診。インフルエンザと判断され、治療的にリン酸オセルタミビル投与。5時間後、突然興奮、過換気状態となり救急搬送される。翌日、不穏状態改善。10日後、全身状態良好となり退院。 |
| 288 | B-07000160 | 女性 | 51歳 | 150mg | 臭化水素酸デキストロメト ファン 塩酸プロカテロール ラミブジン シクロスポリン | 意識消失 | 軽快 | インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始(5日間)。意識消失発作が発現。投与終了後、3日目、意識消失発作にて自宅で倒れているところを家族が発見した。その後、意識はすぐに回復した(生体肝移植後で病院に通院中であり、同病院の医師に相談し、本剤はそのまま内服を続行したが、その後、意識障害はなかった)。 |
| 289 | B-07000229 | 女性 | 51歳 | 150 mg | クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン セラペプターゼ | 幻覚 幻視 | 軽快 軽快 | A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、気分不良、嘔気が出現。ふらつきがあり、足が倍程に太くなる等の幻覚が発現。翌々日の朝、MRI施行するも異常なし。幻覚、幻視は軽快。 |
| 290 | B-01002845 | 男性 | 52歳 | 150mg | ジクロフェナクナトリウム 塩酸ホミノベン | 糖尿病性昏睡高 浸透圧性昏睡 | 回復 | 交通事故によるL1、2脊髄損傷(下肢不全麻痺)、肥満。 発熱(37.1°C)、悪感、咽頭痛で、急性喉咽頭炎の診断でファロム投与開始。 翌日、口渴、多尿あり。 2日後、発熱(39°C)、全身・怠感出現、インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル投与開始。 その4日後、本剤投与中止。 投与中止1日後、多飲、多尿、全身・怠感持続。午後より悪心、嘔吐発現。 投与中止2日後、異常高血糖(高浸透性非ケトン性昏睡)、急性腎不全発現(呼吸困難、意識昏迷状態、コーヒー残渣物嘔吐など)。同日、意識状態悪化、呼吸状態悪化、心電図異常(急性腎不全による)発現。 その2日後、心電図正常化。 その4日後、異常高血糖(高浸透性非ケトン性昏睡)、急性腎不全回復。 DMコントロール、下肢不全麻痺のリハビリの為、転院 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|---|----------|---|
| 291 | B-04027266 | 男性 | 52歳 | 150mg | ファロペナムナトリウム ロキソプロフェンナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン | 浮動性めまい 冷汗 嘔吐 下痢 血圧上昇 心電図QRS群延長 | 回復 | B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始3日目夜間より、冷汗、眩暈、悪心発現。3日目、完全右脚ブロック(QRSの延長)を確認。冷感、体動時眩暈、嘔気、嘔吐あり、入院。4日目、眩暈あるも嘔気、下痢回復。5日目眩暈続くも退院、以後転帰不明。 |
| 292 | B-05000322 | 男性 | 52歳 | 75mg | フルオキシメステロン プレドニゾン テプレノン ニコチン酸トコフェロール 塩化カリウム ジピリダモール 塩酸アンブロキシール 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸セフカペンピボキシル 非ピリン系感冒剤(4) レノグラステム(遺伝子組換え) ロキソプロフェンナトリウム | 痙攣(全身性痙攣) | 軽快 | 発作性夜間血色素尿症、再生不良性貧血、慢性腎不全の既往あり。38℃を超える発熱出現感冒薬等投与するが、2日後になっても発熱、倦怠感持続のため受診。迅速検査でインフルエンザBと診断、リン酸オセルタミビルを投与。2回投与後全身性の硬直性痙攣が出現し、数分間持続。その後通常状態に戻るも、痙攣の前半部の記憶は定かでない。腎機能増悪のため治療。 |
| 293 | B-07000155 | 女性 | 53歳 | 75 mg | アセトアミノフェン | 意識変容状態 | 回復 | インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを処方される。服用後、就寝。翌朝、服用後、腹痛のためトイレに入る。冷汗が出て気付いたら意識喪失で倒れているところを夫が発見。歯3本折る、顔の外傷、頭部血腫。自律神経系異常、意識消失発現。他院でCTをとったが異常なく、現在治療中。発見時、大きないびきをかいていた。 |
| 294 | B-07000231 | 女性 | 53歳 | 150 mg | | 意識変容状態 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用4時間後、トイレで倒れ意識消失1分位あり。救急車で来院。応答できるがぼんやりした感じ。上肢の脱力と嘔気がある。翌朝、症状改善し、退院。倒れたときの記憶はなく、意識消失は確かにあったものと考えられる。 |
| 295 | B-07004232 | 女性 | 54歳 | 75 mg | 塩酸フェキソフェナジン 臭化水素酸デキストロメトルファン テプレノン | 血圧低下 意識変容状態 | 回復 回復 | インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。夕、本剤服用後、咳がひどく痛くなった。体温は39℃台から36℃台に速やかに低下。夜、突然意識を失って転倒。家族が呼んでも反応なし。救急隊到着時、血圧低下、意識障害あり。外来到着時、血圧が低下していたが、徐々に上昇。まもなく覚醒したが、見当識障害が強くベッドからこころげ落ちそうになるほど。明らかに異常行動の危険があると判断されたため、入院・経過観察とした。その後、3~4時間で全く普段通りに戻った。服用から2日目、血圧低下、意識障害回復。インフルエンザ軽快。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|-------|--------------|-------------------------|-----|---|
| 296 | B-02012658 | 女性 | 55歳 | 150mg | 五虎湯 血圧降下剤 | 意識レベルの低下 | 回復 | 近医にて耐糖能異常と診断されたが投薬なし。低血糖発作既往、TIAの既往なし。インフルエンザ治療のため午前中より、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目に食事の後本剤服用10分後に気分不良、冷汗、意識もうろう、全身発汗発現、トイレにて倒れる。動悸著明。約1時間半後、処置せず症状回復。 |
| 297 | B-03012141 | 女性 | 55歳 | 150mg | | 痙攣 | 回復 | インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。夕方75mgを服用。3時間後に上肢が痙攣したが、1時間ほどで改善。 |
| 298 | B-04026213 | 男性 | 55歳 | 75mg | なし | 意識変容状態 | 回復 | B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の2時間後に嘔気自覚、引き続き意識消失及び嘔吐の有害事象発現。5分後には回復。翌日外来受診するが、有害事象は認められず。 |
| 299 | B-04026885 | 女性 | 55歳 | 150mg | なし | 浮動性めまい | 不明 | メニエール病の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与。投与開始後2日目、めまいがひどいと愁訴あり。4日目、本剤投与中止。体調不良の際にはめまいが発現するとの愁訴は報告時にも継続。 |
| 300 | B-05001027 | 男性 | 55歳 | 150mg | | 味覚消失(味覚喪失) 無嗅覚(嗅覚喪失) | 未回復 | インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与開始。本剤投与2日目から味覚障害・嗅覚障害発現。本剤投与4日目で中止し、耳鼻科受診するが、味・嗅覚喪失改善されず、以後耳鼻科にて投薬を受けている。 |
| 301 | B-04027249 | 女性 | 56歳 | 150mg | 塩酸オロパタジン | 意識消失 発疹 顔面浮腫 | 回復 | B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。2回目の服用後、胸部背部に発疹が出現するが、未処置のまま就寝。翌朝、発疹はやや軽減するが、顔面浮腫の自覚あり、さらに排尿時にごく短時間の意識消失発現。再度リン酸オセルタミビルを服用したところ、気分不良及び発疹増悪、入院。点滴加療等により、翌日回復、退院。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|-------|---|---------|----|--|
| 302 | B-07000104 | 男性 | 57歳 | 75 mg | アセトアミノフェン ベシル酸アムロジピン カンデサルタンシレキセチル メシル酸ドキサゾシン 球形吸着炭 炭酸水素ナトリウム アロプリノール ファモチジン 沈降炭酸カルシウム シロスタゾール タゾバクタムナトリウム・ピペ ラシナトリウム パニベネム・ベタミブロン ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン | 痙攣 | 死亡 | 発熱(39.4℃)、湿性咳嗽あり、インフルエンザA治療のため、リン酸オセルタミビル服用。5時間後の翌未明、けいれん発症。 |
| 303 | B-07000287 | 女性 | 57歳 | 75 mg | | 落ち着きのなさ | 回復 | インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、リン酸オセルタミビル75mg服用後、透析開始。服用20分後、息苦しさ出現。SpO2 90%。O22リットル開始後、98%に改善するが、その後起座呼吸。不穏状態となる。胸部レントゲン上(透析1時間後)うっ血を認める。服用1時間後、心不全、不穏の為、入院。 |
| 304 | B-05001265 | 女性 | 59歳 | 150mg | セフジトレンピボキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミ ニウム配合剤 酸化マグネシウム | 悪夢(悪夢) | 回復 | インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。投与開始日の夜、悪夢発現。発熱中夜睡眠時に悪夢発現。本剤投与開始3日後平熱化し、自覚症状改善したため、当日夜の服用を中止したところ、悪夢を見なくなった。回復。 |
| 305 | B-05001338 | 男性 | 59歳 | 150mg | セフジトレンピボキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミ ニウム配合剤 アズレンスルホン酸ナトリウ ム・L-チロシン | 悪夢(悪夢) | 回復 | 前日から38℃発熱、インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜悪夢出現。飲み続けた2日間、悪夢継続。本剤投与中止により悪夢の自覚症状改善。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|--------------------------|----------------------|---|
| 306 | B-05024962 | 女性 | 59歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 嘔吐 悪心 頭痛 頭部不快感 | 回復 回復 回復 回復 | A型インフルエンザで発熱(36.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビル服用を開始した。投与開始から2日目に悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感が発現し、リン酸オセルタミビルの服用は投与開始から3日目の投与終了までで中止した。その後、悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感の発現から約20日後に症状が回復した。 |
| 307 | B-07000276 | 女性 | 59歳 | 75 mg | ハロペリドール ゾテピン 塩酸ピペリデン ユビデカレノン フマル酸クエチアピン 塩酸プロメタジン センノシド フルニトラゼパム | 痙攣 息詰まり | 不明 後遺症 | インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。一回服用後、痙攣、意識レベルの低下発現。本剤投与中止。翌朝、普段と変わらない状態を確認後、食事。その後、食事をのどに詰め倒れているところを発見。 |
| 308 | B-05001125 | 男性 | 61歳 | 75mg | カルボシステイン ステアリン酸エリスロマイシン | 意識変容状態 | 回復 | インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。食後カルボシステイン、ステアリン酸エリスロマイシンと同時に服用したところ5分以内に意識がなくなる。救急車到着後まもなく意識が戻ったため、自宅静養。回復する。その数日後、再度受診し本剤DLSTの検査を行ったところ、S.I.値217%であった。 |
| 309 | B-05000880 | 女性 | 62歳 | 150mg | | 味覚異常(味覚障害) 嗅覚錯誤(嗅覚障害) | 回復 | インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与。投与開始4日後に味覚障害、嗅覚障害発現。その後も投与を続け、開始5日後に投与終了。投与終了後8日で軽快。 |
| 310 | B-06025517 | 男性 | 62歳 | 150 mg | アセトアミノフェン | 意識消失 | 回復 | インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤投与翌早朝、意識不明(トイレに目覚めたが、トイレと逆方向に行き転倒。気付いたときは頭部に4cm程度の切り傷あり)発現。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|-------|--|------------------------------------|-----|---|
| 311 | B-05001513 | 女性 | 63歳 | 150mg | テオフィリン 非ピリン系感冒剤(2) セフボドキシムプロキセチル アセトアミノフェン アスピリン アルファカルシドール バルプロ酸ナトリウム トロキシピド トラピジル 沈降炭酸カルシウム プロチゾラム クエン酸モサプリド 塩酸チアラミド 鎮咳配合剤(1) | 痙攣(けいれん重積発作) | 回復 | 脳梗塞、慢性腎不全、血液透析の既往あり。咳、発熱(38.5℃)嘔声出現し、塩酸チアラミド及び鎮咳配合剤4日間投与。その後も発熱、喘鳴が続くため、確定検査によりインフルエンザB確定診断しリン酸オセルタミビル投与。3日後解熱するが喘鳴改善なく、感冒薬投与。翌日全身痙攣をきたし、救急搬送。けいれん重積発作が3時間続く。その後回復。 |
| 312 | B-05002114 | 女性 | 63歳 | 150mg | アジスロマイシン水和物 非ピリン系感冒剤(4) テプレノン エカベトナトリウム | 味覚異常(味覚障害) | 軽快 | 発熱有り受診し、B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。本剤投与後3日後、食欲不振、味覚障害発現(重篤でないし軽微でもない)。その翌日平熱となり本剤投与中止。本剤投与中止20日後、味覚障害軽快となる。 |
| 313 | B-05000160 | 女性 | 64歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 筋痛(両上肢脱力を伴う筋肉痛) 感覚障害(上半身皮膚知覚異常) | 未回復 | 発熱、関節痛のためインフルエンザ確定診断を実施せずリン酸オセルタミビルを投与開始。翌日両上肢脱力を伴う筋肉痛、上半身皮膚知覚異常発現。その後の処置、転帰等については不明。 |
| 314 | B-05017977 | 女性 | 64歳 | 75mg | | 意識消失(意識消失) | 回復 | B型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。1cap服用後、意識消失発現。救急搬送される。翌日退院となる。回復時期は不明。 |
| 315 | B-04027668 | 男性 | 65歳 | 150mg | メフェナム酸 非ピリン系感冒剤(4) | 味覚異常 | 回復 | B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目、味覚障害を発現。合計5日間本剤服用した後、投与中止。翌日、味覚障害回復。その後9日目、調子が悪くなり(だるい)、悪寒、味がおかしくなるとの訴えあり。味覚障害については、報告時未回復。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|-------|---|--------------|----------|--|
| 316 | B-03003859 | 女性 | 66歳 | 150mg | カルベジロール レボチロキシナトリウム グリベンクラミド アカルボース | 脳血栓 血圧低下 | 未回復 | 発熱(38.6°C)にてリン酸オセルタミビル服用開始。 2日後、血圧低下。 その2日後、本剤服用中止。 服用中止21日後、右半身麻痺発症。 2日後、入院し脳血栓症の診断。 退院後も右半身麻痺症状は消失せず。 |
| 317 | B-03009966 | 男性 | 66歳 | 75mg | テオフィリン برانルカスト水和物 テプレノン プロピオン酸フルチカゾン | 痙攣 意識消失 | 回復 | 喘息のため、テオフィリン、برانルカスト水和物、テプレノン(以上開始日: 2001/07/14)、プロピオン酸フルチカゾン(開始日:2002/05/28)を投与中。イン フルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。同日夜、75mgを服 用。その7時間後、意識消失発作あり転倒したが、1分程度で意識が戻る。その 2時間半後、眼球上転、全身痙攣出現、便失禁あり。1分程度で痙攣消失し意識 清明となる。入院したが、意識清明。本剤内服は中止。7日間入院したが、その 間意識消失、痙攣なし。 |
| 318 | B-05001653 | 女性 | 66歳 | 150mg | アズレンスルホン酸ナトリウ ム インドメタシン 乳酸リンゲル液 メクロプラミド | 意識変容状態 | 回復 | 発熱・全身倦怠感を訴え外来受診。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタ ミビル投与。翌日午前中嘔吐し、再度外来受診。乳酸リンゲル液+メクロプラ ミド静注。手のしびれを訴えたがそのまま帰宅。翌日早朝、意識障害に気づき、 救急病院に搬送され、本剤投与中止となる。翌日、家族から意識回復の電話 連絡あり。 |
| 319 | B-07001731 | 女性 | 66歳 | 75 mg | 臭化水素酸デキストロメトル ファン ロラゼパム クロキサゾラム | 意識変容状態 痙攣 | 回復 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。食事中、腹痛、気分不快 になり意識消失(5分間程)。尿失禁あり。その後回復。 |
| 320 | B-07002262 | 女性 | 66歳 | 150mg | アセトアミノフェン ツロブテロール 塩酸プロカテロール クラリスロマイシン 酒石酸ソルピデム 臭化オキシトロピウム 臭化水素酸デキストロメトル ファン セラペプターゼ 塩酸アンブロキシール カルボシステイン テオフィリン | うつ病 | 回復 | インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤を服用するとう つ状態となり、死にたいという気持ちが強くなり、手首を切ろうかと思いつめた。 3回目までの服用したが、あまりに症状がきついで、本剤服用中止。中止後、 症状軽快するも、中止1ヵ月後、うつの症状が抜けきらず、夜も眠れないとのこ と。 |

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|--------------------|-----|--|
| 321 | B-05001646 | 女性 | 67歳 | 75mg | 非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ 塩化デカリニウム アセトアミノフェン 維持液(3) | 意識消失(意識消 失(失神)) | 回復 | 前日から38°C発熱、咽頭痛、頭痛有り、受診しインフルエンザBと診断。治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜、意識消失(トイレで倒れ骨折)。失神は5分以内に回復。本剤投与は継続し本剤投与4日後にインフルエンザ回復。 |
| 322 | B-06026127 | 女性 | 67歳 | 150 mg | クラリスロマイシン 塩酸チアラミド リン酸コデイン(1%以下) 塩酸プロカテロール 塩酸セフェピム | 意識消失 | 回復 | 夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2°C。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。 |
| 323 | B-04024816 | 女性 | 68歳 | 150mg | テガフル・ギメラシル・オテ ラシルカリウム アセトアミノフェン 塩酸エホニジピン メクロプラミド | 意識変容状態 痙攣 | 回復 | B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。最終投与(4回目)後当日中に、言語、行動異常出現。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置により、有害事象発現16日後回復。 |
| 324 | B-07000205 | 女性 | 69歳 | 75 mg | リン酸ジメモルファン カルボシステイン アズレンスルホン酸ナトリウ ム・L-levodopa アセトアミノフェン | 意識消失 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、意識消失発現。廊下でまへのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中止。 |
| 325 | B-07001524 | 男性 | 69歳 | 150 mg | | 認知症 | 回復 | 3日前、発熱あり。 インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用開始3日目、幻覚、認知症の悪化発現。幻覚の内容は「周りに女の人がい て集団見合いをしている」といったもの。その3日後、幻覚軽快。本剤服用後し ばらくは認知症の程度が強くなった。さらに2日後、認知症の悪化も回復。 |
| 326 | B-02002488 | 男性 | 71歳 | 150mg | アジスロマイシン水和物 非ピリン系感冒剤 セラペプターゼ | 糖尿病性昏睡 | 未回復 | 悪寒、発熱(38.5°C)のためリン酸オセルタミビル投与開始。 3日後嘔吐、倦怠のため投与中止。 中止2日後、糖尿病性昏睡発現。インスリン処方。 2ヶ月後、糖尿病性昏睡軽快 |